

CAMPUS NET

特集
助産師になりたい！

学部2年生が
インタビュー！



助産師になりたい!

先輩にいろいろ聞きたい!

大学院助産看護学分野1期生の学び

2018年4月、本学の大学院に助産学領域 助産看護学分野が誕生し、1期生が入学して1年となります。大学院で助産師を目指す1期生の先輩に、学部2年生がインタビュー。助産看護学分野を受験するために何を勉強したらいいか、大学院での生活についてなど、気になることをいろいろ質問しました。



大学院ってどんな感じですか？

Q 大学院受験の勉強として、特に何をしたらいいですか？



A 英語の勉強をしたらいいと思います。大学の英語の先生によく相談にいきましたよ。



左から
2年生の橋爪更紗さん、村田夢華さん、
大学院助産看護学分野の
川之上莉央さん、中村佳穂さん、
2年生の嶋田帆伽さん、岡田岬さん



Q いつから助産師を目指そうと思いましたか？



A 3年生の病院実習で助産師に興味を持ったかな。



Q 大学院で楽しいことは何ですか？



A 助産看護学の先生方から、自分の経験談としていろんなお産について、話を聞くことが楽しいです!



大学院博士前期課程 助産看護学分野(助産実践コース)について

助産師国家試験受験資格と修士の学位取得をめざすコースです。2年間のカリキュラムの中で、女性と新しい命、その家族に必要とされるケアを提供する力を身につけ、よりよい助産・看護に繋がる研究プロセスを学びます。授業や実習では、学習者のユニークな個性を大切に、学習者が自ら学ぶ姿勢を支えます。ぜひ一緒に学びましょう！



亀田 幸枝 教授

もっと詳しく聞いてみました！

Q 勉強の内容は
どのようなものでしょうか？

A 学部生のころとは違い、自分たちで学びを広げていく学生主体の授業です。先生から提示された事例に対して話し合い、その場で対象となる妊婦さんや産婦さんや産後のお母さん・赤ちゃんはどのような状態か、そこにはどんなケアが必要かを考え、実際に想定しながら演習します。

Q 就職について
どのように考えていますか？

A 地元に戻って就職したい、分娩数が多くてたくさん経験できる病院、大きな病院で就職したいなど、大学院生それぞれに思いがあります。

Q 学部生のときと
生活は変わりましたか？

A 授業が終わった後、学校に残って研究やレポート、自己学習、授業準備をしています。学部のごとく比べて遅くまで残る日が多くなりました。

Q どのように研究を進めるのですか？

A まずは研究の方法論を学びます。そして自分が研究をしたいテーマを1年間で絞り込みます。2年生では研究のためのデータを収集し、分析をして、仕上げていきます。



実習室には最新モデルの機器が充実

Q 看護師として働きながら
通うことはできますか？

A 助産コースでは働きながら勉強することはできません。ほぼ毎日朝から授業があり、実習中は24時間体制です。

Q 奨学金は利用できますか？

A 日本学生支援機構の大学院生に向けた奨学金を利用することができます。また、学部のごときに利用していた奨学金の返済を大学院に通っている間、猶予してもらえるものもあります。条件が合えば、大学院で授業料減免を利用できる場合もあります。

Q 実習はどのように
進めているのでしょうか？

A お産に携わることが主になります。卒業するまでに10例以上のお産をとりあげることを目標としています。お産はいつ始まるのかはわからないので、24時間いつ呼ばれてもいいような体制になっています。他には、妊婦さんや産後のお母さんと赤ちゃんに関わり、授乳のケアについても学んでいます。

Q アルバイトはできますか？

A 週末だけや短時間なら可能ですが、学校生活に支障がきたさないようにしています。

気になる！ 大学院生の1日

実習期間ではない日の一例です。午前は休講で夕方から授業があったり、休講の時は先生と研究について相談したり、有効に活用しています。

起床
朝食
身支度

7:00

大学に
到着

8:30

大学院で
授業

9:00~16:00

大学に残り、
研究や
自己学習

19:00ごろまで

買い物
夕食
TV鑑賞

19:00~

お風呂
洗濯

21:00ごろ

就寝

23:00ごろ



海外研修に参加しました！

🇺🇸 夏期アメリカ看護研修に参加して

2年 澤山 千明さん

今回参加してみて、2週間で得たものや感じたことは数多くあります。このような機会がなければ、行くことのできなかったハーバービューメディカルセンターをはじめたくさんの医療施設を見学させていただきました。最先端、救急患者が運ばれてくる病院なだけあり、特有の雰囲気、に圧倒されたのもいい思い出です。またこの施設見学でアメリカの医療のすごいところを発見するとともに、日本の医療の優れているところもみつけることが出来ました。ホームステイや活動を通して、英語でのコミュニケーションの難しさや喜び、楽しさを知り、今後の人生に生きる素晴らしい体験ができた2週間になりました。



🇹🇪 タイ国立チェンマイ大学看護研修に参加して

3年 福井 七海さん

この研修を通して一番印象に残っているのは、タイの伝統医学と補完医療センターの訪問です。ここでは現代医療の中心である西洋医療だけでなく、東洋医療やタイの伝統的医療を選択したり、統合した医療も受けられることを見学しました。患者の訴えや身体状態に寄り添うだけでなく、古代からの知恵として自然治癒を利用する方法も受け継いでいて、この先も大切にしていこうとする医療者の姿勢に感激しました。

初めての海外は不安でいっぱいでしたが、11人の仲間と一緒に、毎日タイの人々の温かさを感じながら充実した2週間を過ごせました。日本では関心を持たなかつただろう、たくさんのことに触れ、この研修で得た知識や経験を実習に活かしていきたいです。



グローバルヤングリーダー誕生！

「学都いしかわ課題解決型グローバル人材育成プログラム」のグローバル・ヤングリーダーの称号を岩佐菜さん、新田明日香さんの2名が授与されました。「学都いしかわグローバル人材育成プログラム」は、現在、社会で求められている「課題解決型グローバル人材」として必要な能力を身に付けるための教育プログラムです。一定のレベルに達するごとにその能力の証明として修了証を授与します。

お二人のコメント

発見力・分析力・展開力・行動力・国際力といった力を鍛えるため、石川県への理解を深めることから始まり、高齢者への健康教育や被災地ボランティアをはじめとする地域での活動や海外研修に参加してきました。多くの経験を通じて、自分で考え解決していくための選択肢の幅が広がったように思います。また、異なる国や世代の方々、地域特性、文化、医療制度などに触れ、さまざまな視点から物事をとらえる力が身につきました。卒業後も主体的に学び続ける姿勢を大切に、地域に貢献できるような看護職になりたいです。

青年海外協力隊の一員としてタンザニアへ

山口 明彦さん (2010年度卒業)

2016年10月より2年間、青年海外協力隊看護師として東アフリカのタンザニア共和国の州立リグラ病院に派遣されていまして山口明彦と申します。私は海外で看護師として働くという夢があり、それを叶えるため現在も働く国立国際医療研究センターを休職し参加しました。現地での活動は5S-KAIZENの普及と推進でした。整理、整頓することや病院内で発生している問題をみんなで考え、解決するということは、日本では当たり前ですがタンザニアでは充分ではありません。私の提案が受け入れられないことも多くありましたが、現地の人々と信頼関係を築く中で、彼らと同じ目線に立ち協力し合いながらそれらの課題に取り組めるようになりました。



また、タンザニアの看護学会で同僚スタッフと活動報告を実施し同僚スタッフ自身が5S-KAIZEN活動に誇りをもって取り組むようになってくれました。現在は職場に戻っていますが、この経験を活かして日本での医療の質向上にも貢献できるよう頑張っていきたいとおもいます。



本学博士前期課程専門看護師〈老年看護CNSコース〉を2017年度に修了し、現在は老年専門看護師として活躍している長瀬さんに大学院での学びについてお聞きしました。

老人看護専門看護師として

市立砺波総合病院 老人専門看護師 長瀬 佐知子さん
(博士前期課程2017年度修了)

石川県立看護大学大学院における2年間の学びを経て臨床現場に戻った時、患者さんとそのご家族をとりまく状況の見え方がこれまでとはガラリと変化したことには自分でも驚き、理論と実践の行き来がどれだけ大切か、身をもって体験しました。

どの方にも望む生き方と逝き方があり、病院という医療現場でそこに少しでも近づくためには様々な倫理調整が必要とされます。

石川県立看護大学で学んだこと全てが私の人生の大きな財産です。これから老人CNSとして、ひとりひとりの高齢者の人生がその人らしいものと感じていただけるよう、そしてそのような現場風土を醸成していきたいと思います。

大学院博士前期課程専門看護師〈CNSコース〉について

本学の大学院博士前期課程〈CNSコース〉は大学院院生として研究を学ぶとともに、「地域看護」「小児看護」「がん看護」「老人看護」の専門看護師教育課程として日本看護系大学協会から認定されています。「あなたに出会えてよかった」と思っている高い感受性と高度な実践力を備えた看護職をめざして、本学大学院の専門看護師教育課程の扉をノックしてください。

※専門看護師 (CNS : Certified Nurse Specialist)

川島 和代 老年看護学分野教授 (「老人看護CNS」指導教員)



卒業式・学位授与式



平成30年度の卒業式・学位授与式を3月16日(土)に挙行了しました。石垣学長より看護学部生85名、大学院生12名(前期課程10名、後期課程2名)に対して、卒業証書および学位記が手渡されました。石垣学長は式辞で「出藍の誉れとなってください」と激励しました。谷本正憲石川県知事、作野広昭石川県議会議長からは「石川県民が安心・安全な生活を送るために、活躍を期待しています」という祝辞をいただ

きました。卒業生代表の新田明日香さんが、修了生を代表して米澤洋美さんが「これまで支えてくれた教員、仲間、家族への感謝と今後精進していく決意」を述べました。式典の終盤では、合唱サークルの歌声と教職員や保護者の温かい拍手で、卒業性の活躍と新たな門出を祝しました。

平成30年度 4年生担任 桜井 志保美 准教授

学長表彰

優秀な成績を修めた新田明日香さん、グローバル・ヤングリーダーの称号を授与された岩佐菜さん、災害ボランティアサークルふたばで率先して宮城県での被災地支援活動に取り組んだ霞流恋さん、江縁はるなさん、角まどかさん、思春期・若年成人のがんの啓蒙活動に貢献した樋口麻衣子さんの6名に、学長から表彰状が授与されました。



左上から時計まわりに霞流恋さん、角まどかさん、江縁はるなさん、樋口麻衣子さん、岩佐菜さん、新田明日香さん

学部卒業生の言葉

患者さんからかけられた忘れられない言葉

平成30年度 4年生 泉屋 昂平さん



私が大学生活で印象に残っていることは2年次の臨地実習です。受け持ちの患者さんから「心の優しい看護師さんになってね」と言葉をかけられました。この言葉は、私の中で忘れることができないフレーズであり、今後看護師として、また人として大切にしていかなければいけないと感じています。4年間は、楽しかった思い出が多くある一方で、壁にぶつかることも多々ありました。そのような時には、先生や先輩、同級生が支えとなってくれました。大学生活でたくさんの人々と出会ったことで、人として少しずつ成長することができたと思います。

大学院修了生の言葉

臨床では見つからなかった「1」を求めて

平成30年度 大学院 博士前期課程 土肥 優子さん

大学院での2年間は決して楽なものではありませんでした。私がここまで頑張れたのは、苦しさが100あったとしても、面白さや学びが1あれば、それがとても貴重な1になり、苦しさに立ち向かわせてくれる力となったからです。臨床では見つけれなかった1を探し求めて出会えたことは、看護師としての幅を広げて大きな財産になりました。さらに同じ志を持ち、いつも刺激を与え続けてくれる仲間や先生方の存在が励みにもなりました。2年前の自分より成長したことを、看護に還元していきたいと思います。意味のある、かけがえのない時間を過ごすことができて幸せでした。

第39回日本看護科学学会学術集会 開催のお知らせ

第39回日本看護科学学会学術集会事務局長 川島 和代

第39回日本看護科学学会学術集会を石垣和子学長が学術集会長として開催致します。石川県立音楽堂をメイン会場として11月30日(土)、12月1日(日)の両日実施致します。北陸3県の看護系大学の協力を得て、全国から4000人の看護研究者や看護実践家をお迎えしようと計画しております。卒業生や修了生、在籍学生の参加を心よりお待ちしております。学術集会と同日に開催される中高生向けのナーシング・サイエンス・カフェは、学生とともに企画を練りたいと考えています。ご協力ください。

開催日 2019年11月30日(土)・12月1日(日)
 会場 石川県立音楽堂・ANAクラウンプラザホテル金沢・
 ホテル金沢・もてなしドーム地下広場(総合受付)
 詳細はホームページをご参照ください <http://jans2019.jp/>



看護キャリア支援センターより

石川県立看護大学附属看護キャリア支援センターでは、2019年2月13日(水)に修了式をおこない、石川県健康福祉部長、石川県看護協会長の参列をいただきました。本年度は、認知症看護認定看護師教育課程2期生31名と認定看護管理者サードレベル教育課程3期生23名が、それぞれの教育課程を修了しました。修了前の認知症看護認定看護師教育課程では、「成果発表会」を開催しました。履修生は、座学で深めた知識をもとに臨地実習をおこない、そこで得られた成果と今後の課題を発表して、指導者からご意見をいただきました。また、認定看護管理者サードレベル教育課程では、「統合演習発表会」を開催しました。そこでは、教科目で学習した内容を統合・活用し、看護



管理の実践の向上を図ることを目的にグループ演習をおこない、最終日に個人発表を行いました。いずれの教育課程においても発表後の質疑応答では、履修生間で活発な意見交換が行われ、今後の臨床現場で実践していく力となりました。

看護キャリア支援センターでは看護師のキャリア形成を支援するため教育的環境を整え、門戸を開いています

秋のオープンキャンパス

入試準備セミナーを開催！
 高校生・保護者等96名が参加

秋のオープンキャンパスは、看護祭と同時開催にて、10/27(土)に開催しました。昨年同様、入試準備セミナーとしました。受験生である高校3年生の参加が多く、入試準備セミナーや学生と直接話ができる相談・交流コーナーが好評でした。参加者からは、「夏のオープンキャンパスよりも、入試や大学のことを聞いて良かった」「ホームページやパンフレット等では知ることができなかった内容が聞いて良かった」という感想が聞かれました。学生に実際に話が聞ける相談・交流コーナーでは、男子高校生の相談が目立ちました。



卒業生の内定状況

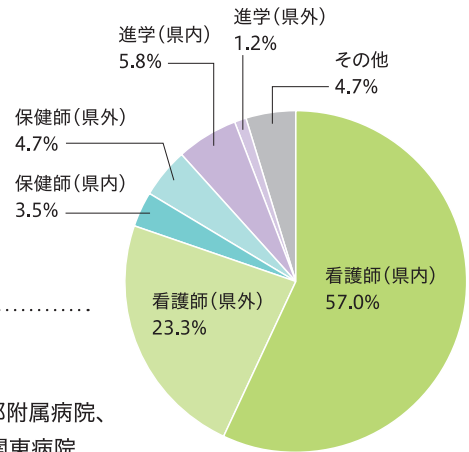
平成31年3月31日現在の就職内定・進学状況は次のとおりとなっています。

〈県内就職内定・進学先〉

看護師 石川県立中央病院、金沢大学附属病院、金沢赤十字病院、
公立松任石川中央病院、金沢医療センター、JCHO金沢病院、
公立穴水総合病院、恵寿総合病院、済生会金沢病院、
国立病院機構医王病院、加賀市医療センター 他

保健師 内灘町、志賀町、石川県成人病予防センター

進学 石川県立看護大学大学院（助産）、金沢大学看護教諭特別別科 他

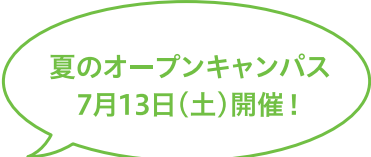


〈県外就職内定・進学先〉

看護師 富山大学附属病院、国立病院機構富山病院、新潟県立病院、信州大学医学部附属病院、
三井記念病院、東京大学医学部附属病院、板橋中央総合病院、NTT東日本関東病院、
東京慈恵会医科大学葛飾医療センター、神戸大学医学部附属病院 他

保健師 福井県、あわら市、高山市、北陸予防協会

進学 名古屋市立大学大学院(助産)



平成31年度 キャンパススケジュール

前期		後期	
入学式	4月3日(水)	授業開始	10月1日(火)
授業開始	4月8日(月)	大学祭(看大祭)	10月19日(土)～20日(日)
夏のオープンキャンパス	7月13日(土)	秋のオープンキャンパス	10月19日(土)
試験	7月31日(水)～8月9日(金)	冬期休業	12月21日(土)～1月5日(日)
夏期休業	8月10日(土)～9月30日(月)	試験	2月12日(水)～2月21日(金)
韓国看護研修	8月25日(日)～9月8日(日)	春期休業	2月22日(土)～
アメリカ看護研修	8月28日(水)～9月10日(火)	卒業式・学位授与式	3月14日(土)



石川県立看護大学グローバルはまなす基金



開学から20年が過ぎようとしている今日、社会や家族の変化、医療経済の危機に対応した医療の再編が間近いことが聞こえてまいります。本学では今後ますます時代や地域にあった看護師・保健師を輩出する努力を重ねる所存です。そこで、学生・大学院生の国内外研修を推進する事業や、教育・研究活動において地域社会に貢献する事業を推進することを目的に、「グローバルはまなす基金」を設立しました。趣旨にご賛同いただける方からのご寄附をお待ちしております。

お問合せ先（石川県立看護大学総務課）076-281-8300